

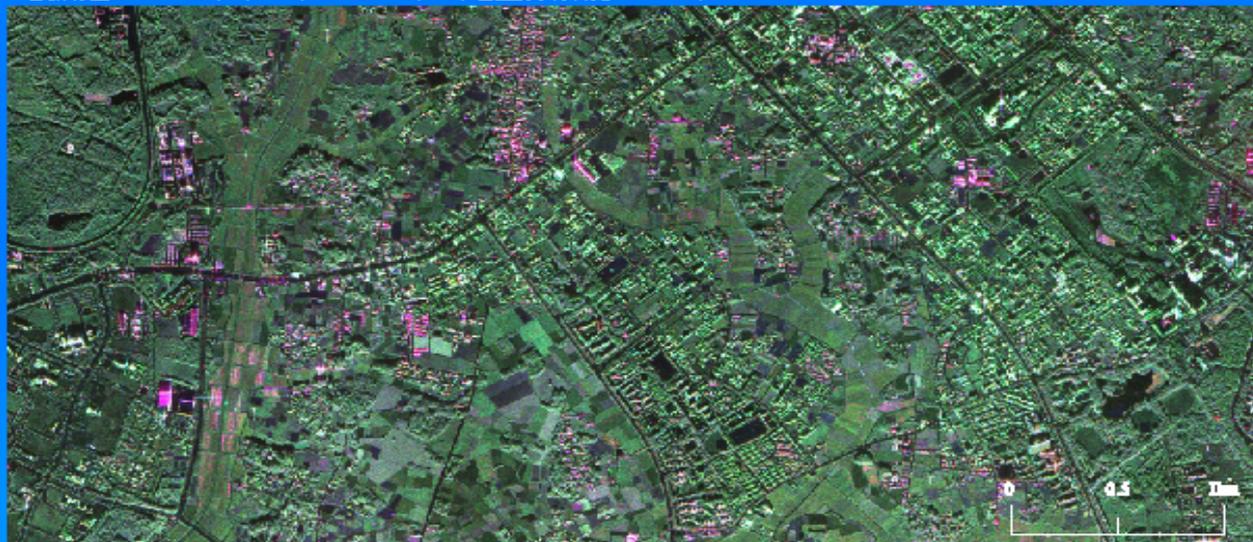
## マイクロ波映像で見る筑波学園都市近郊の土地被覆（１）

データ収集：独立行政法人・通信総合研究所

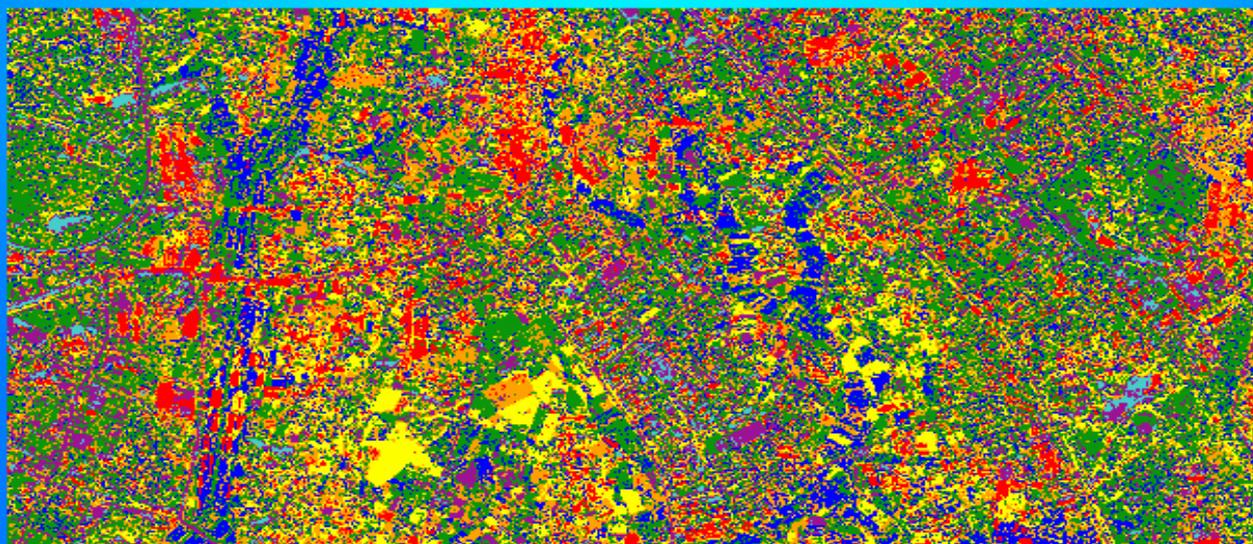
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

JACIC 情報 66 号からシリーズとして取り上げている航空機搭載マイクロ波映像レーダ (Polarimetric and Interferometric Airborne Synthetic Aperture Radar System : Pi-SAR) データを用いて、筑波学園都市周辺の土地被覆分類図を作成しました。上段の Pi-SAR データは、観測波長帯 X バンド (地上分解能 : 1.5m、観測波長 : 約 3cm) で観測されたものです。下段の土地被覆分類図は、水平 (H)・垂直 (V) 偏波の組み合わせから観測される「HH 偏波画像、HV 偏波画像、VV 偏波画像」全てを入力情報として、分類手法 (教師付き最尤法) を用いて土地被覆項目別に分類した結果です。X バンドのデータを用いる場合、縮尺 1/10,000~1/25,000 程度の土地被覆分類図が作成できることが判ります。昼夜全天候型観測という特徴を持つ Pi-SAR から観測されるデータは、光学センサデータとの併用・代替利用等、様々な方面での活用が期待されています。

観測日：1997/9/30；Xバンド（地上分解能：1.5m）



Xバンドカラー合成画像（HH偏波；赤，HV偏波；緑，VV偏波；青）



土地被覆分類図

<凡例>

■ 畑地 1 ■ 畑地 2 ■ 水田 ■ 樹林 ■ 人口構造物 1 ■ 人口構造物 2 ■ 水域

© Communications Research Laboratory, 1997